

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」



150周年

遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ~子どもも 教職員も 地域も 伸びる学校~

次年度に向けて

2月に入り、令和6年度の子どもたちが登校する日は30日を切りました。それぞれの学年で、今年度の学習の復習問題や応用問題にチャレンジするなど、学習の定着を図っています。学校生活面では、今年度の重点目標のひとつである「あいさつ」がもっとよくできるように、1月の生活目標を「元気なあいさつ」にして意識付けを行いました。2月はあいさつを含めた「言葉遣い」を全学年の生活目標にし、次年度に向けて子どもたちのさらなる心の成長につながるよう取り組んでいます。

次年度に向けて教職員も準備を進めています。先日は、令和7年度のめざす児童像を考える会議を行いました。令和6年度の子どもたちの、実際の学校生活の姿から、どんな力をつける必要があるのかを、知・徳・体の3つの視点で出しました。今後、出したことをもとに、令和7年度のめざす児童像を教職員で考えていきます。そして、その姿に近づくための、令和7年度の重点取組を決めていきます。



1月の生活目標と「ハンカチ・ちり紙・ネームぼうし」が全員そろったら花が貼れるポスター



令和7年度の「めざす児童像」を話し合う教職員

車いす体験～4年生～

2月3日(月)に、社会福祉協議会の方をゲストティーチャーに迎え、4年生が「車いす体験」を行いました。車いすの基本的な操作の仕方や、押すときに注意しないといけないことなどを学んだ後に、体育館に設置した練習コースをつかって体験を行いました。少しの段差や坂道でも、車いすを操作することや押すことが難しいことを体感することができました。



国際理解～異文化と多様性を学ぶ～

2月6日(木)、5年生が、ALTのRachel Stephens先生(久世中・草加部小・余野小担当)と、Sashta Jebodh先生(北房中・北房小・月田小・富原小担当)から、それぞれの国の様子を教えていただく交流会を行いました。この会は、真庭ロータリークラブが行っている取組で、今年度は遷喬小学校で実施されました。レイチェル先生は、アメリカのノースカロライナ州の様子、サシタ先生はトリニダード・トバゴの様子を、実際の写真をもとに英語で紹介してくださいました。子どもたちは、日本と似たところと、日本とは違うところを感じながら、しっかり聴くことができました。5年生の子どもたちは、総合的な学習で「多文化共生」について調べているので、その学習を深める機会にもなりました。



入学説明会

2月5日(水)に入学説明会を行いました。次年度は今のところ62名の新入生を迎える予定です。入学に向けての準備物等について説明した後に、真庭市生涯学習課の家庭教育支援チームによる親育ち応援学習プログラムを実施しました。保護者同士がグループに分かれ、「入学までにしておきたいこと」や「入学に向けて不安に感じていること」などについて、それぞれの保護者の思いを伝え合いました。保護者同士の温かいつながりは、子どもたちの健全育成の鍵です。ぜひ、よりよい関係を築いていただければと思います。

職員一同、4月8日(火)の入学式に、新1年生の子どもたちが元気に登校してきてくれることを楽しみにしています。



お知らせ

2月28日(金)の参観日の各学年懇談時に、次年度の教育課程と大規模改修、SNSトラブル防止等についてお話をさせていただきます。ご参加よろしくお願いたします。